



目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成29年6月16日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【体力テスト】

体力テストの速報です。5段階評価（ABCDE）で、上位評価のA・Bの子どもが35人中21人というとてもよい結果です。また、D・Eの評価の子どもも昨年と比較するとよくなっています。

持久力が特によく、課題としては、柔軟性が挙げられます。体育の授業を中心に改善向上を図っていきます。

睡眠時間やテレビやゲームをしている時間等についてのアンケート調査もありました。気になるのは、睡眠時間が6時間前後の子が2名、テレビ等の1日の視聴時間が3時間以上の子が3名いたということです。ご家庭でも子どもたちと話し合わせ、見直しをお願いします。

【親子で読書・みんなで読書】

くまが大事なぼうしをさがしています。うさぎやかめなどに「どこいったん」と聞くけれど、誰も知りません。あれ、でも、さっき！



とぼけたなかにドキッとする結末が待っています。大阪弁がとてもあっっています。好評でシリーズものになって、「ちがうねん」「みつけてん」になっています。

【いもさし】

大志々伎の〇〇〇さんより、今年もいもの苗をいただき、いもさしを行いました。

1・6年生、2・5年生、3・4年とペアになり仲良く作業を行いました。

今年は空梅雨なので、いもがつくか心配です。高学年を中心に水かけをがんばっています。



【講演より】

6月17日に、民生委員制度創設100周年記念大会に参加し、2歳で失明した立木早絵さんの話を聞く機会がありました。津軽海峡縦断リレーやトライアスロン完走やキリマンジャロ登頂など前例のない様々なチャレンジをされています。

- ・ 全盲は障害と考えていない。見るのが苦手なだけと考えている。
- ・ 一生懸命にすると見えてくるものがある。
- ・ 夢は追いかけるもの。追いかけもがき苦しむ中で力がついてくる。
- ・ 誰にも苦手なことはある。だからこそ、支え合い助け合いが大切。

人間の無限の可能性とここまで育てて来られたご両親の支え、早絵さんご本人の努力を強く感じました。

また、世界3大カーレースの一つ、インディ500でアジア人として初優勝した佐藤琢磨さんの『ノーアタック、ノーチャンス（挑戦しなければ、チャンスは来ない。）』という言葉を思い出しました。